

## 鰐川浄水場における被災・復旧状況について

### 1 被災状況

鰐川浄水場は液状化現象による地盤沈下など、企業局の施設の中で最も大きな被害が生じました。配管の破損が大きなものだけで22箇所発生するなど大きく被災し、浄水場としての機能が失われました。

このため、神栖市配水場へ向け鹿島浄水場からの緊急振替送水を実施し、平常時の半量程度ですが暫定送水を確保しました。

### 2 復旧の状況

- ・ 鰐川浄水場が復旧するまでには相当期間が見込まれ、それまでの間は送水能力が失われるため、鹿島浄水場からの緊急振替送水を実施しました
- ・ 鹿島浄水場からの送水管路でも破損等が生じたが、振替送水を優先させながらの復旧作業を行い、平常時の半量程度の送水量を確保しました
- ・ 大手ゼネコンや地元建設業者・管工事・設備メーカーなど、多いときには100人体制を敷き、24時間の作業にあたりました
- ・ 場内配管の大きな破損は22箇所が発生しましたが、口径600mm以上の大口径管など復旧が難航する箇所では、仮配管による復旧で工期短縮を図りました
- ・ 共同溝は、損壊した箇所から地下水及び土砂が大量に流入し堆積してしまったため、バキューム車や人力による土砂の撤去及び溝内配管の復旧を進めました
- ・ 水処理施設は構造物の被害調査に加え、試験通水による電気・機械設備の点検を行い、損傷箇所を補修し健全性を確保しました
- ・ 主要な復旧工事が完了したことから、場内設備と送水管路の点検を行いながら水処理を開始し、管内洗浄、水圧試験や水質検査を行い、4月18日から神栖市配水場へ向け試験送水を開始しました
- ・ 大手ゼネコンや地元建設業者などの昼夜を問わない懸命の復旧作業により、約1ヶ月で主要な復旧工事が完了し、4月19日(火)より神栖市配水場へ向け送水再開、震災前の水準まで仮復旧することができました